

# 「えらチャレ」推進事業の実施に向けて

## ～不登校児童生徒等へのアンケート結果について～

佐久市教育委員会事務局  
学校教育課

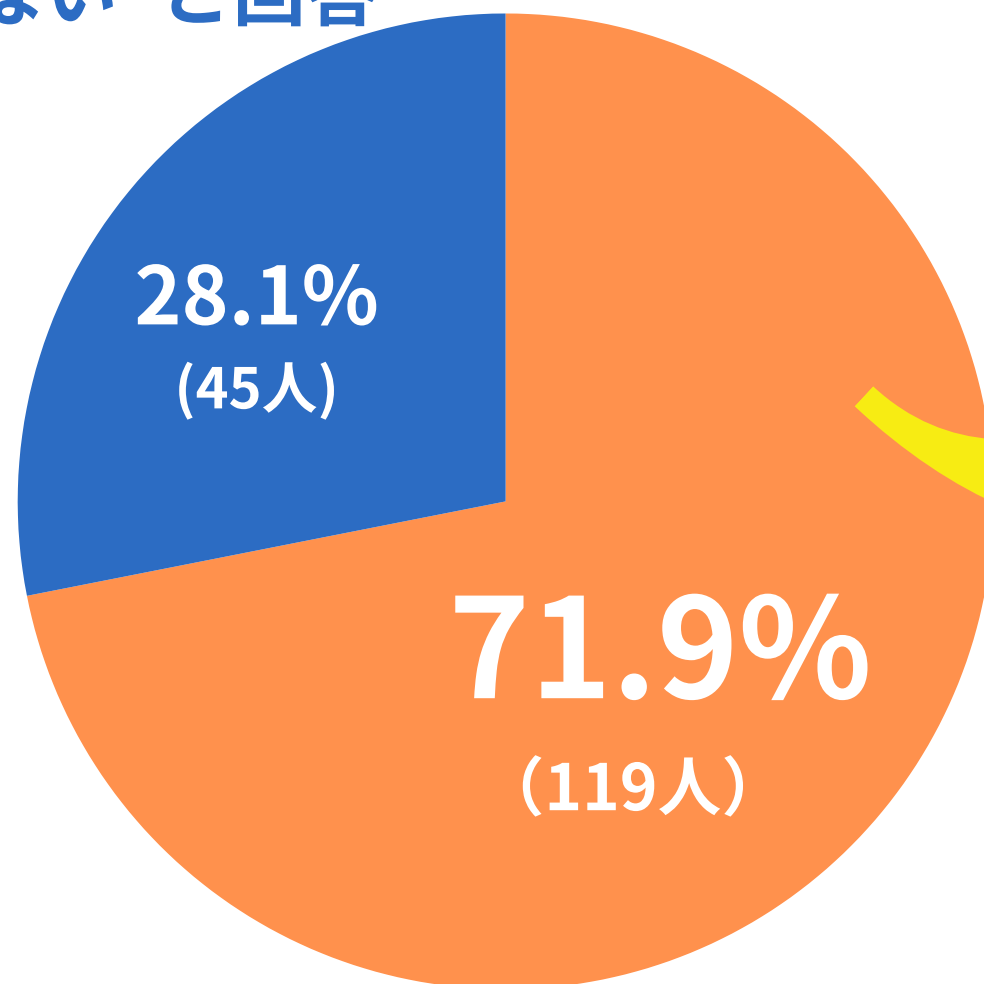
# アンケートの概要

- 実施期間：令和 7 年12月24日～令和 8 年1月27日
- 調査対象：市内公立小中学校 長期欠席（30日以上）及び  
欠席傾向（いずれも病気等の理由を除く）の児童生徒351名  
(R7.12月末時点)
- 調査方法：上記児童生徒とつながりのある教職員等による聞き取り
- 回答人数： 1 6 4 名

# 学校を休んでいても学びたい

質問：学校をお休みしている時に家で  
やっていること学んでいることはありますか。

“ない”と回答



“ある”と回答

このうち



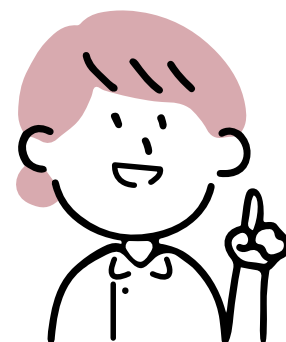
38.7%(46人)の児童生徒  
教科の学習をしている



61.3%(73人)の児童生徒  
プログラミング、読書、デザイン、楽器  
料理、運動、畑仕事、折り紙 など

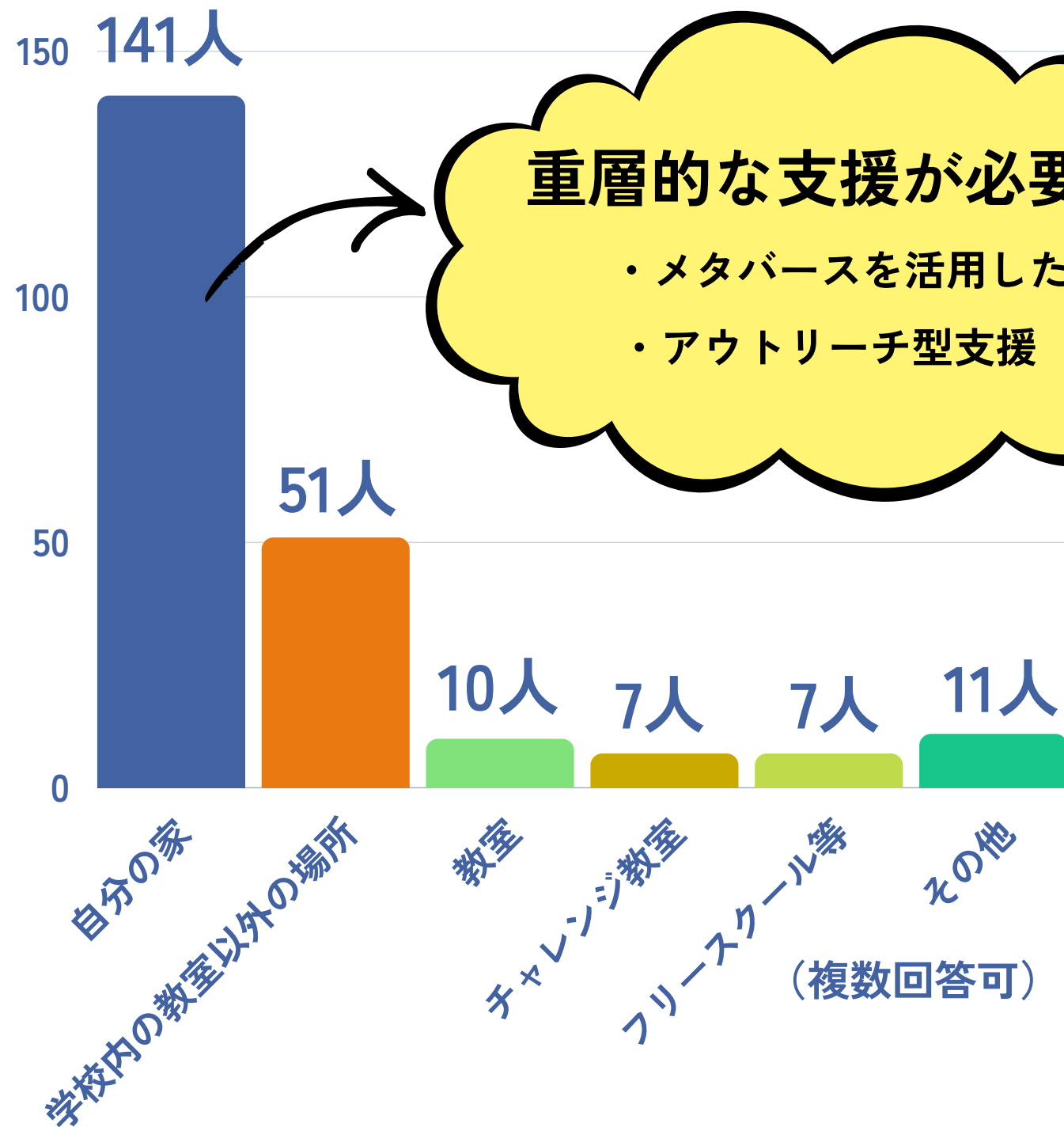


学校に行けなくても、  
約70%の児童生徒が教科や  
興味関心のあることを学んでいる



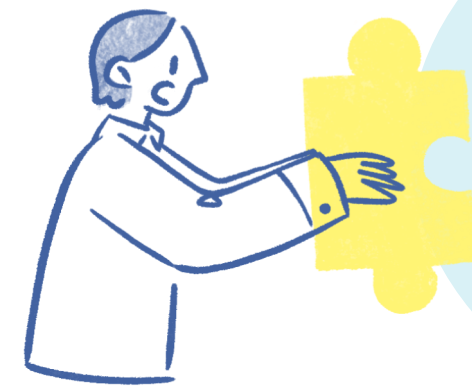
# 安心していられる場所は？

質問：あなたが安心していられる（いられそうな）  
場所はどこですか？



## 重層的な支援が必要

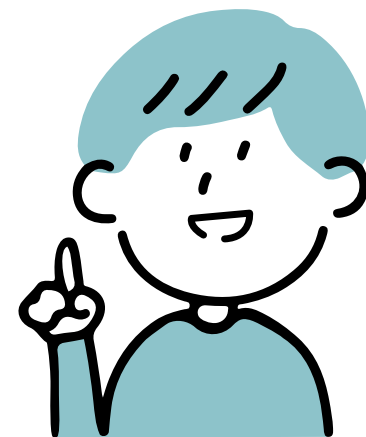
- ・メタバースを活用した支援
- ・アウトリーチ型支援 など



「自分の家」と回答した  
児童生徒が一番多かったが  
それ以外には・・・



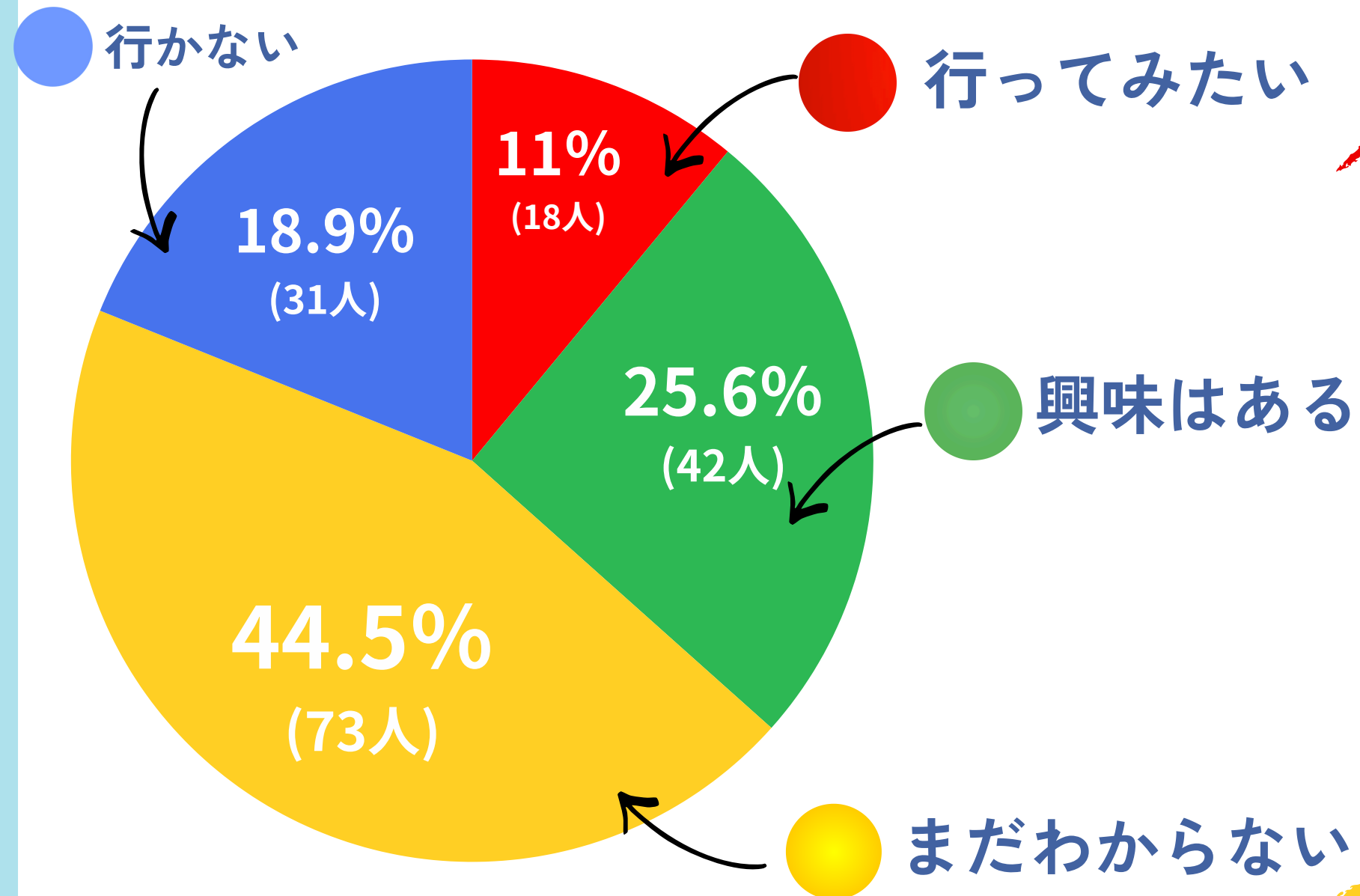
- 「学校内の教室以外の場所」という回答が多い
- そのほかにも、教室・チャレンジ教室  
フリースクールなど



子どもたちの学びを支えるために  
安心して学べる居場所づくりが必要

# もし「えらチャレ」があったら

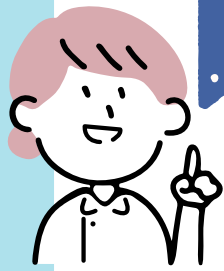
質問：えらチャレ（選べるチャレンジ教室）が  
できたら行ってみたいですか？



36.6% の  
肯定的回答



「まだわからない」(44.5%)  
「行かない」(18.9%)  
と回答した児童生徒を  
分析してみると・・・



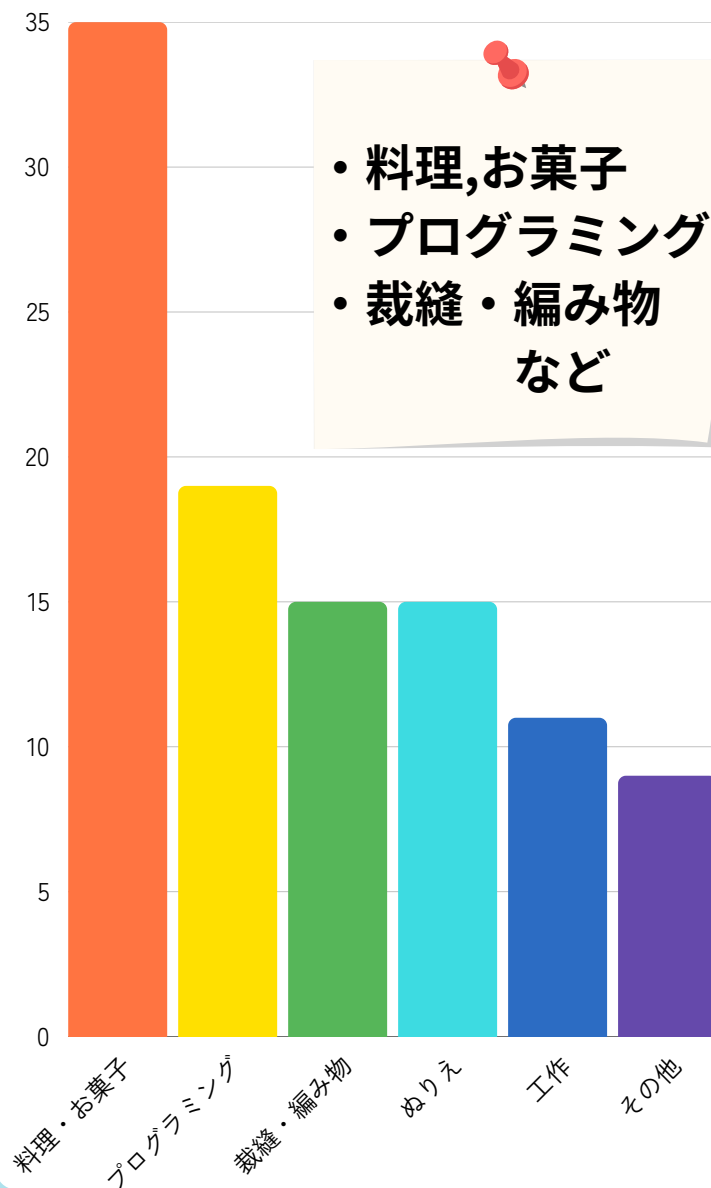
# たくさん「好きなこと」や「やってみたいこと」が見えてきた

質問：あなたの好きなこと、やってみたいことを選んでください。

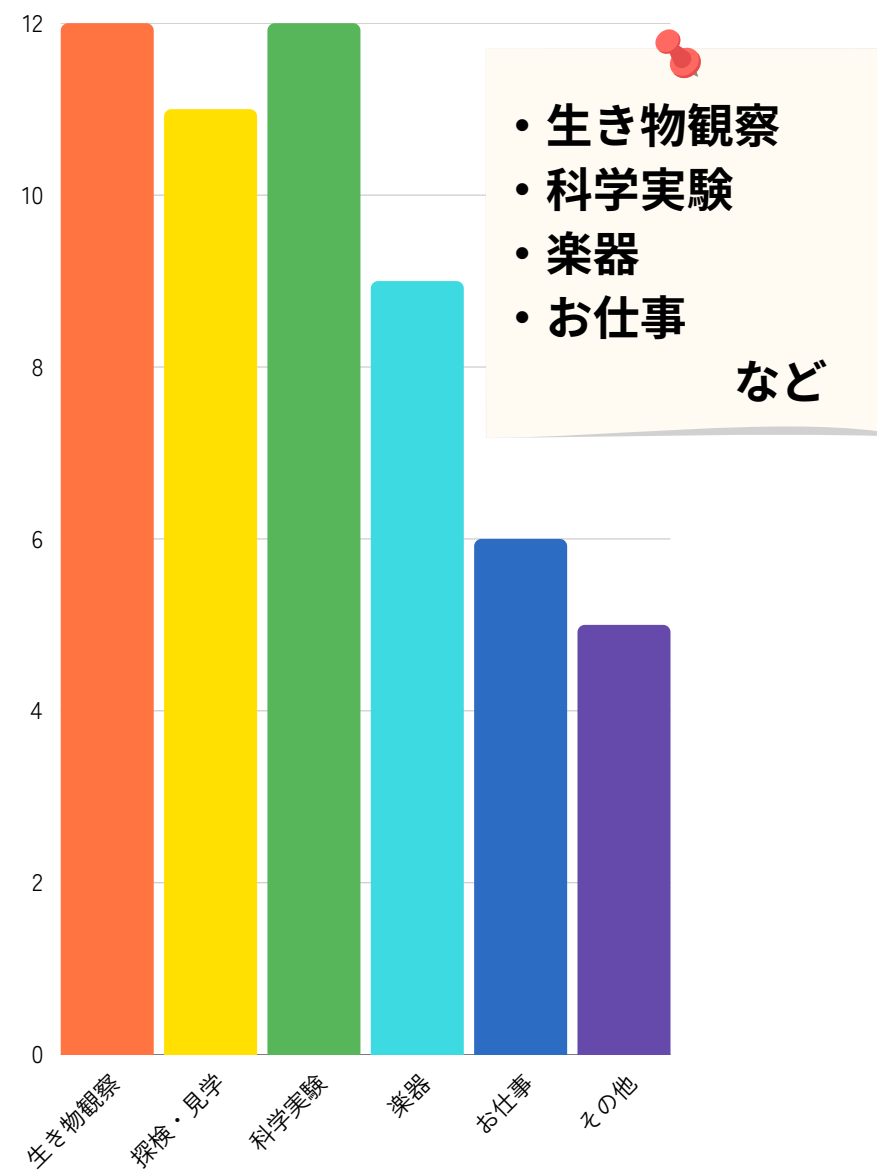
(複数回答可)

子どもたちの  
おもしろいやねがいを  
支えられる場所が  
あるといいな。

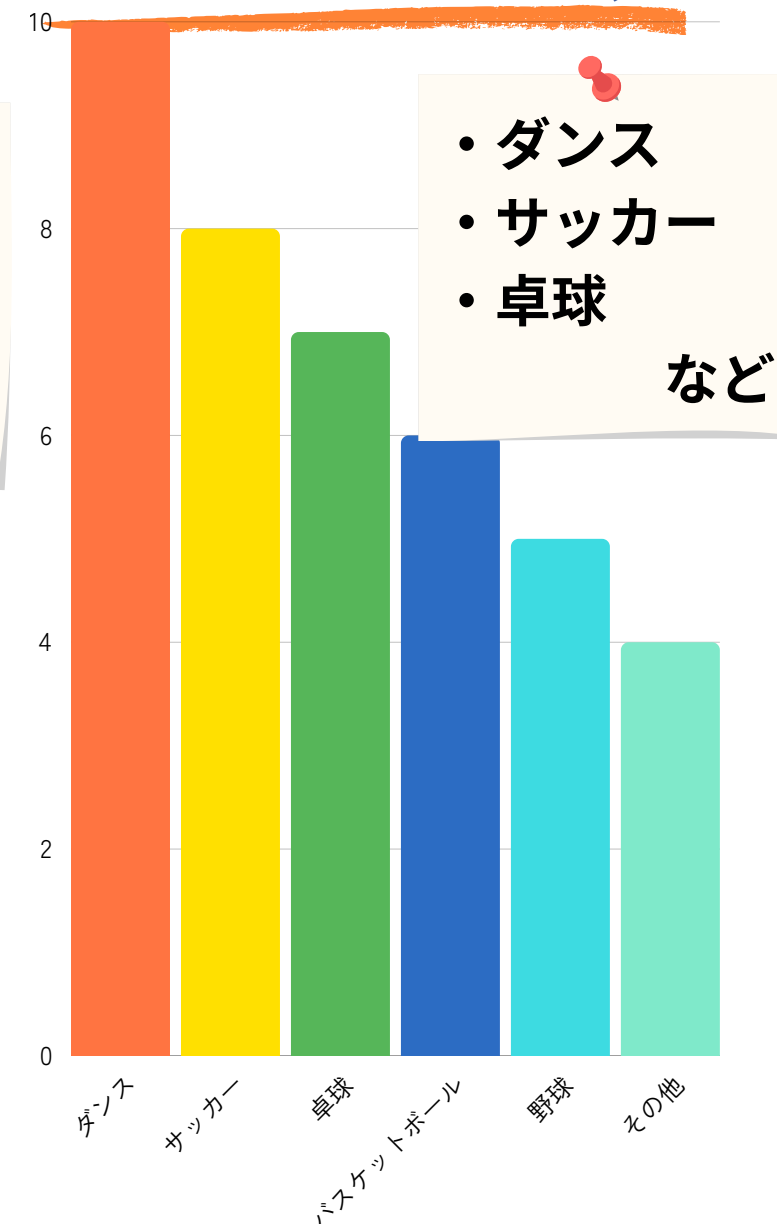
## 作りたい(66人)



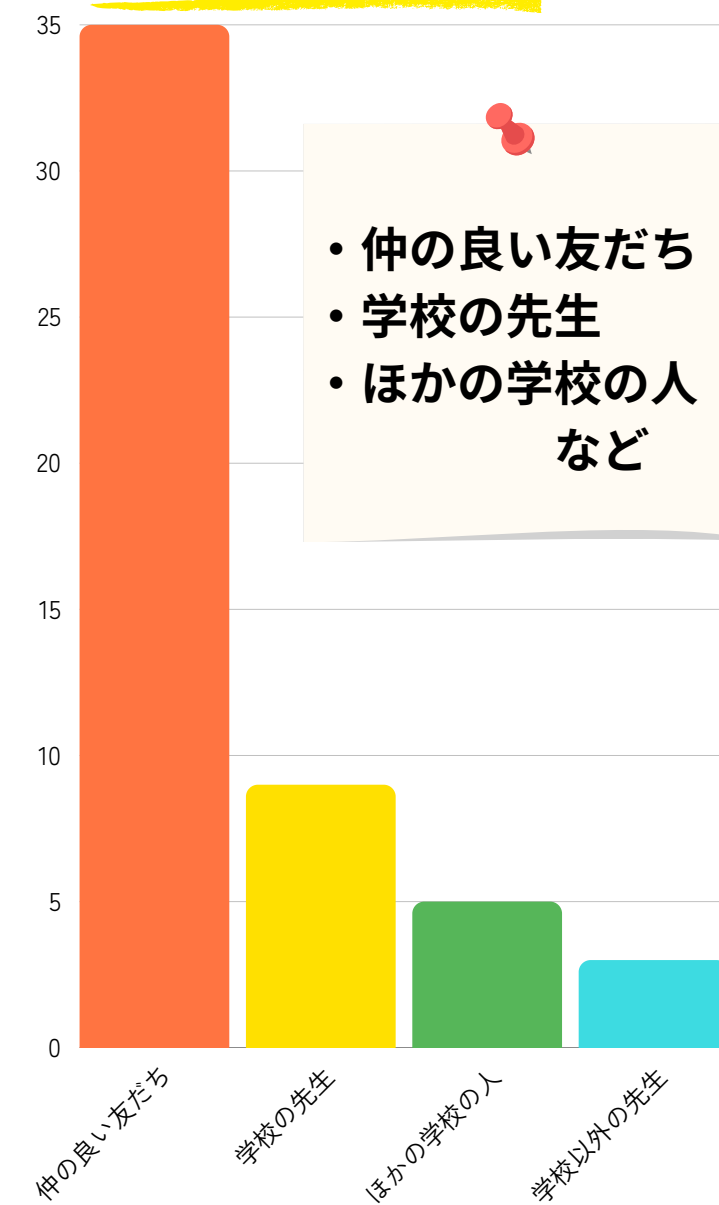
## 体験・実験したい(49人)



## 体を動かしたい(40人)



## お話したい(39人)





# 子ども達の多様な学びを支える「えらチャレ」

佐久市の

## えらチャレ

目的

誰一人取り残すことなく、

心と体の健康を保ちながら、

学びを保障する

### 芸術分野

絵画やクラフト、音楽など多様な芸術分野に特化し、自由に表現することができる  
チャレンジ教室



### スポーツ分野

サッカーや野球、卓球など体を動かす活動を通して、おもいきり活動できる  
チャレンジ教室



### 自立学習分野

自分が知りたいこと、興味のあることを、自分のペースを大切に学習できる  
チャレンジ教室



### お仕事分野 (キャリアアップ)

お仕事体験などを通して、多様な視点や考え方を学び、社会性を育む  
チャレンジ教室



### 科学分野

様々な素材や薬品を使った科学実験が楽しめる。実験を通して、観察実験の技能を高める  
チャレンジ教室



### ICT分野

タブレットを活用して、プログラミング学習や、様々なデジタルツールを使った活動ができる  
チャレンジ教室

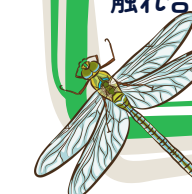


メタバース空間  
支援センター



### 自然分野

豊かな自然の中で、植物・動物・昆虫など様々な生き物との触れ合いを味わえる  
チャレンジ教室



### 教育委員会の役割

子どもたちの  
やってみたい！  
行ってみたい！  
をサポートします。

